



●道路の海拔情報の表示について検討し、海拔表示シートを設置しました！

6月29日（金）、金沢河川国道事務所内で北陸ブロック道路標識適正化委員会（石川県部会）を開催し、海拔情報の表示にあたっての実施方針（対象区間、表示間隔、表示板の仕様等）について検討しました。これは、東日本大震災を受け、津波の被害を減らすことを目的として海沿いの道路に海拔の標識を設置するものです。

会議には当事務所や石川県の担当職員が出席し、石川県が今年3月に見直しをして4月に公表した津波の想定浸水域内に加え、その外側200mまでを基準として海拔情報を設置することに決定しました。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0628_2.pdf

これを受けて、7月27日（金）～30日（月）にかけて、国道160号に北陸地方整備局初となる海拔表示シートを設置しました。今回の設置箇所は国道160号（七尾市川原町～大田町間の4.0km、および庵町～大泊町の11.4km）の93箇所（96枚）で、国道249号や県道については石川県で海拔を表示する予定です。

海拔表示シートには、「この地盤は海拔3m」などと記載してあります。道路を利用する方々に地盤の高さを認識して頂き、災害時の避難等に役立てて頂きたいと思っております。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0726_2.pdf

●第4回 石川県道路安全・円滑化検討委員会を開催しました！

7月11日（水）、石川県内の国道や県道において、交通渋滞などで安全かつ円滑な走行を阻害する箇所について検討する「石川県道路安全・円滑化検討委員会」を、金沢河川国道事務所にて開催しました。今回の委員会は、交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細なデータが取得できることで、円滑走行阻害となる箇所の実態を把握しやすくなったことから、前回の委員会で選定した「主要渋滞箇所」の見直しを行うことを目的に行いました。

委員会では、渋滞による損失時間、ピーク時の最低旅行速度などの指標を基にした55箇所の交差点を選定する案に対し、「観光等で休日だけ渋滞する交差点も石川県の課題箇所として抽出した方が良い」、「最近開通した海側幹線の影響も考慮する必要がある」などの活発な意見交換がなされました。

今後、委員会での意見等を踏まえた箇所の選定をした上で、パブリックコメントを実施し、道路利用者の意見や地域性を反映した箇所の特定を進めていく予定です。

選定しました主要渋滞箇所については、県民の皆様にも広く周知するとともに、対策に係る基本方針をとりまとめていきます。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0709_1.pdf

●能越自動車道 七尾氷見道路で「石川工業高等専門学校」「金沢工業大学」の生徒が 工事現場を見学！

7月3日(火)、石川工業高等専門学校 環境都市工学科の5年生28名が、七尾氷見道路の「大泊道路その6工事」「黒崎道路その6工事」を見学しました。現場で工事担当者の説明や土質改良工、盛土工といった普段教室の授業では学べない現場の作業や技術を体感することで、土木技術への知識を深められたのではないかと思います。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0628_1.pdf

7月6日(金)、金沢工業大学(KIT)の4年生4名が、七尾氷見道路の黒崎川橋、熊淵川橋、東浜トンネル、東浜川橋の工事現場を見学しました。この見学会は大学の若手技術者育成と技術力向上の目的で行い、学生たちは大規模な構造物を建設する現場内に入り、写真を撮ったり工事担当者に工法や構造を質問したりして、熱心に見学していきました。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0703_1.pdf

●金沢東部環状道路で「小松工業高等学校」の生徒が工事現場で学びました！

7月13日(金)、小松工業高等学校 建築土木科2年生36名が、金沢東部環状道路の4車線化工事の現場を見学しました。生徒たちは卯辰トンネルを見学後、「東長江・鈴見舗装工事」の現場にて、「情報化施工」という技術でモーターグレーダやタイヤローラーが作業を進める様子を熱心に見学していました。こうした普段教室の授業では学べない現場の作業や技術を体感することで、土木技術に関する知識と理解を深められたと思います。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0710_1.pdf

**●国道8号 津幡北バイパスの「緊急点検」を行いました！**

7月18日（水）、国道8号津幡北バイパスの緊急点検を行いました。これは、7月5日（木）に発生したトラック衝突死亡事故をうけて、津幡警察署、津幡町、国交省と合同で、交通事故防止を目的として実施しました。

事故現場の点検では、「カーブの手前に電光掲示板を設置し、事故発生地点であることや注意喚起する文字を表示してはどうか」や、「中央線に凹凸を施し、反射塗料によってより見やすくしてはどうか」等の意見がありました。

点検を元に安全対策の検討を行い、9月中にも対策工事を実施する予定です。

対策工事の実施にあたっては交通規制等でご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0717_1.pdf

●国道8号 「手取川大橋」の定期点検を行いました！

7月26日（木）、国道8号「手取川大橋」において、特殊な車両（橋梁点検車）を用いた定期点検を実施しました。この定期点検は、予防保全を目的に5年に1度実施するもので、従来の異常を発見した後に点検・補修する方法に比べて、異常を早期に発見・補修出来ます。そのため、橋梁の維持管理費の縮減や長寿命化を図ることが出来ます。

今回の点検は、金沢工業大学の中村教授に専門的な助言や指導を頂きながら行い、橋げた部分などをハンマーでたたいて音を確かめ、ひび割れ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、浮き、変形などを調査しました。なお、今回の点検で、異常は発見されませんでした。

今後も定期点検を実施し、皆さんに安全・快適に道路を利用して頂けるよう取り組んでいきます。



関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h24/p0724_1.pdf

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 村下 剛

電話 076-264-8800 (代表) F A X 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

金沢河川国道事務所モバイルサイト（携帯サイト）

URL：<http://c10w1bke.securesites.net/k/>